

「キャンドルづくり研修」プログラム

国立江田島青少年交流の家

1 活動内容

○ろうそくを溶かし、着色したり型に入れたりして、オリジナルキャンドルを作る創作活動をする。

2 活動のねらい

○色の組合せや形を工夫したオリジナルキャンドルを作り、個々の持っている表現力や発想力を高める。

○作品を最後まで作り上げた時の成就感を味わう。

3 研修対象者

小学生以上とする。

ただし、保護者又は責任の持てる引率者と組んで活動する場合はこの限りではない。

4 研修人数

最大40人

5 実施時期、研修時間、研修場所

(1) 実施時期 通年

(2) 研修時間 午前 9:00～12:00

午後 13:30～16:30

※準備・片づけを含め2時間程度必要

(3) 研修場所 海洋クラフト室（海洋研修館1F）



6 準備物

(1) 団体：ろうそく、型（紙コップ等）、割り箸、クレヨン

紙コップを使用した場合の1人分の目安

小ろうそく20～30本、紙コップ（90ml）2個、割り箸2膳、クレヨン少量

※ボランティア棟1F売店でも購入可（イシダスポーツ 090-6417-9042）

・小ろうそく80本入り 250円 ・紙コップ（90ml）2個 10円

・クレヨン12色セット 480円 ・割り箸2膳 5円

※香り付けをする場合は、アロマオイルを準備してください。

(2) 交流の家（海洋クラフト室）：ホットプレート、鍋、テーブルナイフ、ハサミ
金だわし、ろう削り

7 指導・安全管理

(1) 研修時は、「キャンドルづくり研修」プログラムをもとに、団体がキャンドルづくりの指導・安全管理等を行う。

(2) 緊急の場合は、団体代表者は直接または内線電話で事務室に連絡する。

8 展開

- (1) 「キャンドルづくり研修実施届」(以下「実施届」)の提出
実施届に必要事項を記入し、総括責任者が研修実施前までに交流の家へ提出する。
※当交流の家ホームページからダウンロード可能
- (2) 事前打合せ
職員と団体の引率者(指導担当者)が、実施届の確認をし、「キャンドルづくり研修」プログラムをもとに、研修に必要な物品や実施方法等の打合せをする。
- (3) 実施前
 - ①団体の引率者(指導担当者)は、交流の家から海洋クラフト室の鍵を受け取り、クラフト室の棚から必要数のホットプレート、鍋、ハサミ等を運ぶ。
 - ②使用可能なコンセント差込口を確認し、ホットプレート等の機材をセットする。
- (4) 事前指導
指導担当者は、作り方シートをもとに、次のことを指導する。
 - ①ねらいを確認する。
 - ②キャンドル作りの材料を配布し、物品を確認する。
 - ③制作手順を説明する。
 - ④安全対策・環境への留意点についての指導を行う。
 - ・加熱中の器具、溶けたロウは大変熱くなるので、火傷に注意する。
 - ・床や机などを汚さないようにする。
- (5) 制作手順
 - ①ロウソクを折り、鍋に入れる。(芯は次で使うので取っておく。)
 - ②型(紙コップ等)を二重にする。ロウソクの芯の端を割り箸ではさみ、芯が中央にくるように型の上に置く。
 - ③ホットプレートの温度を140度程度に設定し、ロウが入っている鍋をかける。(取っ手が熱くなるので、ホットプレートの外側に向ける。)
 - ④割り箸でかき混ぜながら透明になるのを待つ。テーブルナイフを使ってクレヨンを少量削り取り、とけたロウに入れてよく混ぜる。
※香り付けをするときは、この段階でアロマオイルを数滴入れる。
 - ⑤ホットプレートの電源を切り、型にロウをゆっくりと流し込む。
※2層、3層にするときは、15~20分置いておき、初めのロウが固まってから次のロウを入れる。
 - ⑥15~20分置いておき、ロウが固まったら型から外す。芯の余分な部分を切り取って完成。
- (6) 研修実施後
 - ①借用物品を返却する。(鍋に付着したロウは、金だわしを使ってしっかり落とす。落としたりは、排水口には流さない。)
 - ②海洋クラフト室を清掃する。(床や机についたロウをロウ削りで取り除き、掃除する。道具や机、いすを元あった場所に戻す。)
 - ③団体の引率者(指導担当者)は、キャンドルづくり研修が終わったことを報告するとともに、海洋クラフト室の鍵を事務室に返却する。



キャンドルのつくり方

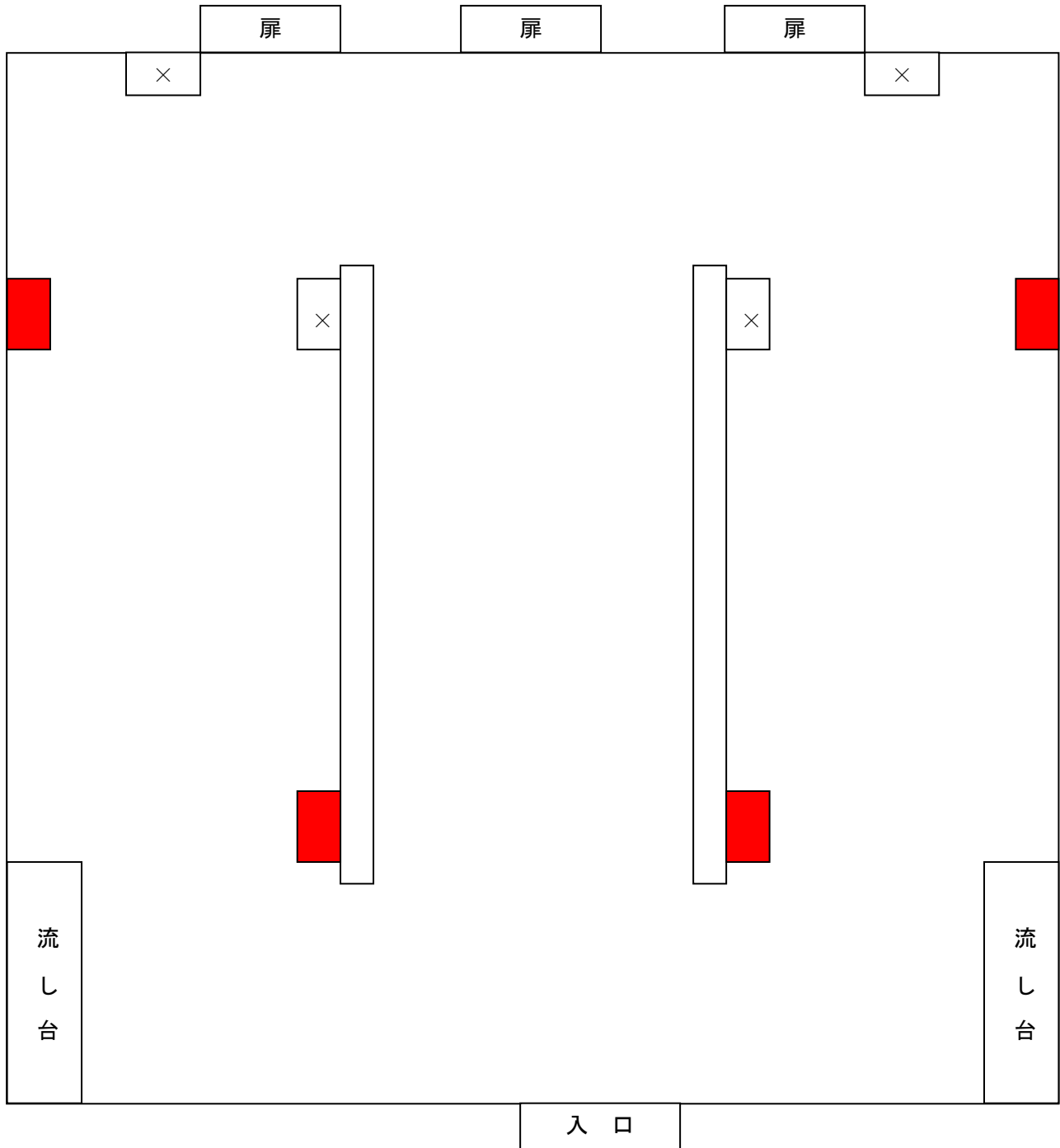



1	ロウソクを折り、鍋に入れる。（芯は次で使うので取っておく。）		
2	型（紙コップ等）を二重にする。ロウソクの芯の端を割り箸にはさみ、芯が中央にくるように、型の上に置く。		
3	ホットプレートの温度を 140 度程度に設定し、ロウが入っている鍋をかける。（取っ手が熱くなるので、ホットプレートの外側に向ける。）		
4	割り箸でかき混ぜながら透明になるのを待つ。テーブルナイフを使ってクレヨンを少量削り取り、とけたロウに入れてよく混ぜる。 ※香り付けをするときは、この段階でアロマオイルを数滴入れる。		
5	ホットプレートの電源を切り、型にロウをゆっくりと流し込む。 ※2層、3層にするときは、15～20 分置いて固めてから次のロウを入れる。		
6	15～20 分置いておき、ロウが固まったら型からはずし、余分な芯を切り落としてできあがり。		

注意事項

- ・溶かしたロウは、非常に高温なので、やけどに十分注意する。
- ・床や机などを汚さないように心がける。鍋についたロウをしっかりと落とし、ロウが床や机についた場合は、ロウ削りで取り除く。
- ・落としたロウは、排水口に流さない。

使用可能なコンセント差込口



 使用可能なコンセント差込口（赤いテープが目印）

上記以外のコンセント差込口を使用すると、ブレーカーが落ちて活動ができなくなります。

平成 年 月 日

キャンドルづくり研修実施届

国立江田島青少年交流の家所長 様

研修団体名

総括責任者名

㊞

連絡先（携帯電話）

キャンドルづくり研修を下記のとおり実施します。なお、指導及び安全管理等は当団体が行い、研修中の事故、けが等については、当団体の責任において対処します。

記

1. 期 日 平成 年 月 日 曜日 時 分～ 時 分

2. 指導体制等

(1) 指導者の役割

指導担当者名 (1名以上)	
救護担当者名 (1名以上)	

(2) 研修参加者数

研修に参加する人数	研修に参加しない人数	合計
人	人	人

(3) 貸出物品等 *交流の家職員との打ち合わせ時に記入

ホットプレート ()	鍋 ()	テーブルナイフ ()
ハサミ ()	金だわし ()	ロウ削り ()

3. その他

- (1) 打ち合わせ資料「『キャンドルづくり研修』プログラム」を遵守し、実施します。
- (2) 参加者の健康状態を十分に調査し、適当と判断した者のみ研修をさせます。
- (3) 持参した物品等は、責任をもって持ち帰ります。